



平成 30 年 2 月 20 日 (火)  
2018 年 No.10 2 月号  
横浜市立 新羽 中学校  
☎542-1680 FAX 541-1038

【HP】 <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/nippa/> 【メール】 [l2-nippa@edu.city.yokohama.jp](mailto:l2-nippa@edu.city.yokohama.jp)

## ● 卒業する皆さんへ贈る言葉 ●

3年生の皆さんとともに過ごし、様々なご指導に力を注いだ第3学年の先生方から、卒業する皆さんへメッセージをいただきました。

### 【学年主任 田中 久宜 先生】

卒業おめでとうございます。新羽中での3年間は早かったですね。でも、あなたたちは確実に成長しました。18歳までの3年間はもっと早いです。充実した日々を送り、更なる成長を！

### 【3年1組担任 高橋 主哉 先生】

いろいろな経験を通して頼もしく成長しましたね。皆と過ごす中で、私も皆から多くのことを学ぶことができました。笑顔のあふれる幸せな時間でした。ありがとう！そして、おめでとう！

### 【3年2組担任 本田 理香 先生】

暗く冷たい土の中で栄養を蓄え大きく膨らんだ球根は、春の訪れと共に芽を出そうとしています。新羽中で得た多くのことを糧に新しい世界で花を咲かせてください。祝卒業。

### 【3年3組担任 熊谷 康子 先生】

卒業おめでとうございます。穏やかな黄色学年の皆さんは、自然豊かな恵まれた環境で伸び伸びと過ごしていました。これからもこの地域を大切に!!そしていつも心に歌声を。

### 【個別支援学級担任 立田 絹子 先生】

「経験は一番の教科書」です。「悩む前に動け、悩んでも動け」の精神でチャレンジして、人生を豊かにしてください。何かを始めるのに遅すぎることはないから!!

### 【進路指導主任 兵頭 律子 先生】

みなさんに伝えたいことは「世界は広い」ということ。何かにつまずいたとき、順風満帆のときはなおさら、新しい場所に出かけて様々な人と出会ってほしいと思います。世界には、自分の知らない楽しいことや自分の力を生かせる場所がたくさんあることに気付いてください。広い視野を持って、豊かな人生を！

### 【副担任 久野 哲史 先生】

卒業おめでとうございます。皆と過ごした時間は、色鮮やかで素敵なものでした。ありがとう。そして、「自分の信じる」それぞれの道を「自分を信じて」突き進んでください。

### 【生徒指導専任 三宅 英和 先生】

ご卒業おめでとうございます。中学校で過ごした3年間で大きく成長したことでしょう。自分の力を信じて、新たな世界へ力強く羽ばたいてください。



【3年生の学年担当教職員】

## ● 校長の授業見学日誌 2017 part 10 ●

～ 「特別の教科 道徳」 で培われる豊かな心 ～



秋から冬へ、今年は急激に寒さがやってきた11月、教師力の陶冶を目指し3人の先生方による「道徳の時間」の研究授業を行いました。横浜市教育委員会から指導主事の方々、正規教員を志願する学生の皆さん（アイ・カレッジ）、隣接校の新羽小学校の先生等をお招きし、授業研究のための研修会を持ちました。

### 【1年2組】新堀 孝太郎 先生

(相互理解と寛容、国際理解と国際貢献)

ガーナのカカオ農家で働く家族にチョコレートあげるか、あげないかを考え、日本人ができる途上国支援の形を考えることを通して困っている人への支援の仕方を話し合う。

### 【2年1組】鈴木 友苗 先生 (伝統と文化の継承)

資料「茶碗開眼」を通して、京都が修学旅行の定番であり、外国から評価されるわけを考え、職人と呼ばれる人たちのアイデンティティを捉える。

### 【2年3組】矢野 開也 先生 (伝統と文化の継承)

「プロフェッショナル 仕事の流儀 坂東玉三郎の仕事」を通して、歌舞伎役者の伝統継承の在り方を考え、自分たちの住む新羽地域の伝統文化に想いを馳せる。

.....

考え議論する学習活動を通した道徳授業の深まりを目指し、積極的に意見交換が行われました。用意された一定の価値観に生徒たちを導く授業ではなく、考えるに値する価値の把握とその吟味を主体的な学習活動とすることが求められている授業形態です。

指導計画と題材・資料の在り方や人権教育との関連などを含め、意義深い研修会になりました。

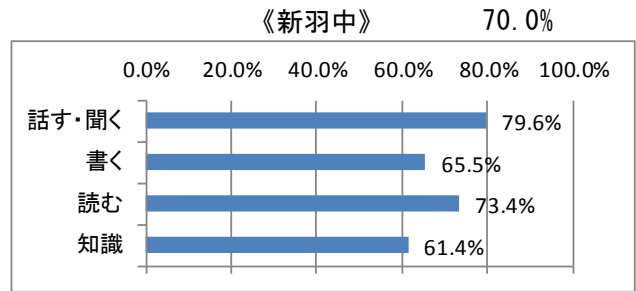
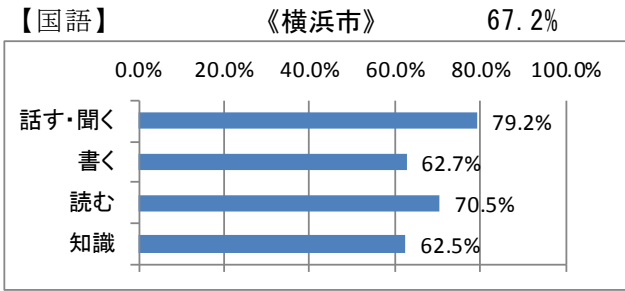


## ● 認知症サポーター養成講座をスタート ●

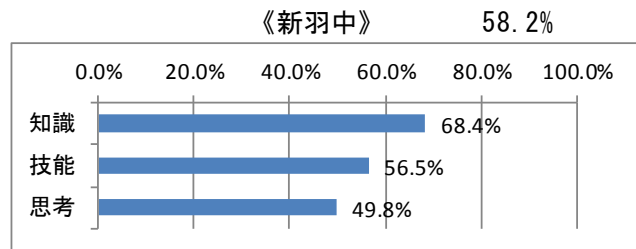
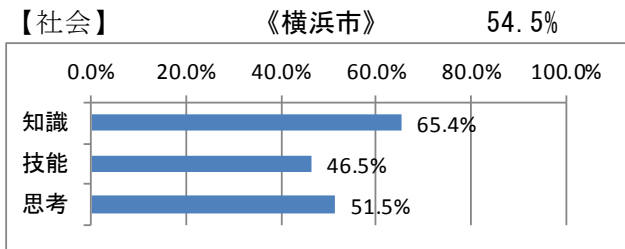
超高齢化社会を生きる現代は、家族として、地域社会として、国として介護という課題を正面から担わなくてはなりません。人の一生において、すべての人々が介護する側、される側それぞれの立場を担うのが、現代であると思います。介護認定を受け、公的な福祉サービスを受けることは、既に一般化していますし、地域社会が独居老人の生活状態を把握し、見守り体制を組むことも重要な課題になっているはずです。また、個人差はあるものの認知症の発症により、唐突に家族の負担が加わってくることも珍しくありません。

このような社会的背景を踏まえて、今年度から3年生が卒業期の特別時間割において標記の体験学習に取り組みます。2月28日(水)10:00から本校体育館で行います。新羽地域ケア・プラザより講師の皆様をお招きし、認知症について学び、認知症の方の手助けをするためのスキルを身に付けることがねらいです。来年度以降も継続する予定です。お時間が許せば、ご家庭や地域の皆様も、ご参観いただけると幸いです。

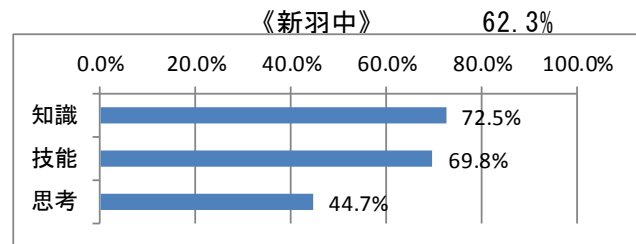
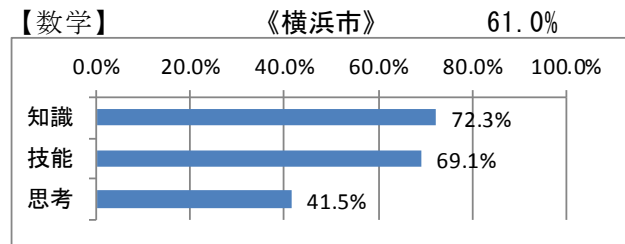
# ● 平成29年度 第3学年 横浜市学力・学習状況調査結果 ●



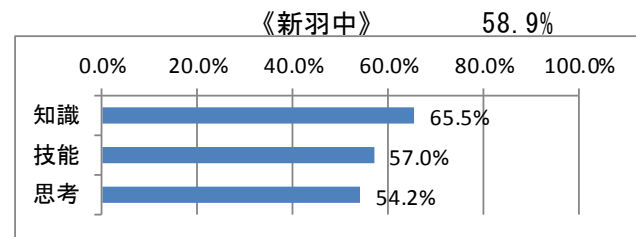
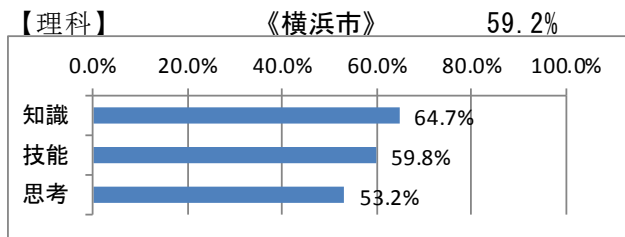
文学的な文章、説明的な文章ともに読む力が市平均値を上回り、身に付いてきている。書く力についても同様である。なお、継続して漢字や文法等の言語事項についての知識・理解・技能の定着を図っていききたい。



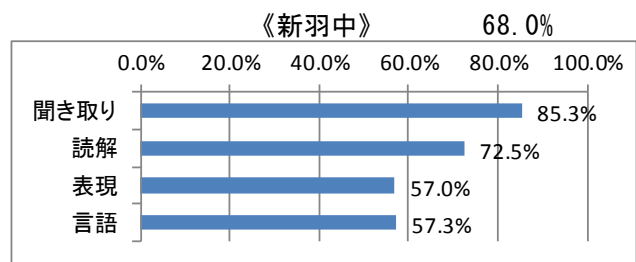
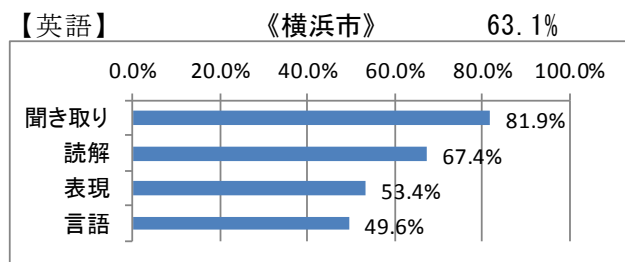
ふだんから新聞やニュースに触れる機会をつくるなど社会科の学習に高い関心や意欲をもっている。また、知識・理解と資料活用力の定着率がよく、特に公民分野での成果がみられる。今後、思考・判断・表現の力を伸ばしていききたい。



関数の単元について市平均を下回るため、規則的な増え方、減り方のある事象について学習を深めたい。数と式については、基本的知識から応用まで力がついている。引き続き、演習の時間を確保し授業を進めたい。



理科に対する学習意欲は高く、基礎的な知識は平均を上回り定着している。実験に対する興味があり、楽しみながら取り組むが技能の定着に弱さがあり、考えて作業を行うことに課題がある。



日頃から、表現力の向上を目指した活動や演習を多く取り入れ、基礎の定着を図った。さらに、英作文の能力向上を目指したい。